【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】令和6年5月7日(2024.5.7)

【国際公開番号】WO2023/152802
【出願番号】特願2023-579896(P2023-579896)
【国際特許分類】
Ｆ２４Ｆ　1/0063(2019.01)
Ｆ２４Ｆ　1/0022(2019.01)
Ｆ２４Ｆ　1/0059(2019.01)
Ｆ２４Ｆ　1/0047(2019.01)
Ｆ２４Ｆ 13/30(2006.01)
Ｆ０４Ｄ 29/30(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ２４Ｆ　1/0063
Ｆ２４Ｆ　1/0022
Ｆ２４Ｆ　1/0059
Ｆ２４Ｆ　1/0047
Ｆ２４Ｆ 13/30
Ｆ０４Ｄ 29/30　　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】令和6年2月6日(2024.2.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ケーシングと、
前記ケーシングの対象空間に臨む面に設けられ、吸込口及び吹出口が形成されたパネルと、
前記ケーシング内に設けられた遠心ファンと、
前記ケーシング内における前記遠心ファンの外周側に設けられた熱交換器と、
前記ケーシング内における前記熱交換器の下方に設けられたドレンパンと、を備え、
前記ドレンパンの外周と前記ケーシングの壁面との間に前記吹出口に通じる吹出風路が形成され、
前記熱交換器は、第１部分と前記第１部分の下方に配置された第２部分とを有し、
前記遠心ファンの外周端と前記熱交換器の内周端との距離が最も近い箇所における前記遠心ファンの回転軸に平行な断面において、前記熱交換器の前記第１部分の内周端及び前記熱交換器の前記第２部分の内周端は、前記遠心ファンの回転軸に平行に配置され、かつ、前記熱交換器の前記第１部分の内周端は、前記熱交換器の前記第２部分の内周端よりも外周側に配置され、
前記断面における前記熱交換器の前記第１部分の外周端から前記ケーシングの壁面までの前記回転軸に垂直な方向の距離Ｌ１は、前記断面における前記遠心ファンの外周端から前記熱交換器の前記第１部分の内周端までの前記回転軸に垂直な方向の距離Ｌ２よりも小さく、
前記断面における前記熱交換器の前記第２部分の外周端から前記ケーシングの壁面までの前記回転軸に垂直な方向の距離Ｌ３は、前記断面における前記遠心ファンの外周端から

前記熱交換器の前記第２部分の内周端までの前記回転軸に垂直な方向の距離Ｌ４より大きく、
前記距離Ｌ１は、前記距離Ｌ３と等しく、
前記距離Ｌ２は、前記距離Ｌ４より大きい室内機。
【請求項２】
前記遠心ファンは、
主板部と、
前記主板部の下方に配置された側板部と、
前記主板部と前記側板部との間に放射状に配置された複数の翼と、を備え、
前記主板部側の前記翼の外径は、前記側板部側の前記翼の外径よりも大きい請求項１に記載の室内機。
【請求項３】
前記遠心ファンは、
主板部と、
前記主板部の下方に配置された側板部と、
前記主板部と前記側板部との間に放射状に配置された複数の翼と、を備え、
前記熱交換器の前記第２部分の上端は、前記側板部より下方に配置される請求項１に記載の室内機。
【請求項４】
ケーシングと、
前記ケーシングの対象空間に臨む面に設けられ、吸込口及び吹出口が形成されたパネルと、
前記ケーシング内に設けられた遠心ファンと、
前記ケーシング内における前記遠心ファンの外周側に設けられた熱交換器と、
前記ケーシング内における前記熱交換器の下方に設けられたドレンパンと、を備え、
前記ドレンパンの外周と前記ケーシングの壁面との間に前記吹出口に通じる吹出風路が形成され、
前記熱交換器は、第１部分と前記第１部分の下方に配置された第２部分とを有し、
前記遠心ファンの外周端と前記熱交換器の内周端との距離が最も近い箇所における前記遠心ファンの回転軸に平行な断面において、前記熱交換器の前記第１部分の内周端及び前記熱交換器の前記第２部分の内周端は、前記遠心ファンの回転軸に平行に配置され、
前記断面における前記熱交換器の前記第１部分の外周端から前記ケーシングの壁面までの前記回転軸に垂直な方向の距離Ｌ１は、前記断面における前記熱交換器の前記第２部分の外周端から前記ケーシングの壁面までの前記回転軸に垂直な方向の距離Ｌ３より小さく、
前記断面における前記遠心ファンの外周端から前記熱交換器の前記第１部分の内周端までの前記回転軸に垂直な方向の距離Ｌ２は、前記断面における前記遠心ファンの外周端から前記熱交換器の前記第２部分の内周端までの前記回転軸に垂直な方向の距離Ｌ４と等しい室内機。
【請求項５】
請求項１から請求項４のいずれか一項に記載の室内機を備えた空気調和装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本開示に係る室内機は、ケーシングと、前記ケーシングの対象空間に臨む面に設けられ、吸込口及び吹出口が形成されたパネルと、前記ケーシング内に設けられた遠心ファンと、前記ケーシング内における前記遠心ファンの外周側に設けられた熱交換器と、前記ケー

シング内における前記熱交換器の下方に設けられたドレンパンと、を備え、前記ドレンパンの外周と前記ケーシングの壁面との間に前記吹出口に通じる吹出風路が形成され、前記熱交換器は、第１部分と前記第１部分の下方に配置された第２部分とを有し、前記遠心ファンの外周端と前記熱交換器の内周端との距離が最も近い箇所における前記遠心ファンの回転軸に平行な断面において、前記熱交換器の前記第１部分の内周端及び前記熱交換器の前記第２部分の内周端は、前記遠心ファンの回転軸に平行に配置され、かつ、前記熱交換器の前記第１部分の内周端は、前記熱交換器の前記第２部分の内周端よりも外周側に配置され、前記断面における前記熱交換器の前記第１部分の外周端から前記ケーシングの壁面までの前記回転軸に垂直な方向の距離Ｌ１は、前記断面における前記遠心ファンの外周端から前記熱交換器の前記第１部分の内周端までの前記回転軸に垂直な方向の距離Ｌ２よりも小さく、前記断面における前記熱交換器の前記第２部分の外周端から前記ケーシングの壁面までの前記回転軸に垂直な方向の距離Ｌ３は、前記断面における前記遠心ファンの外周端から前記熱交換器の前記第２部分の内周端までの前記回転軸に垂直な方向の距離Ｌ４より大きく、前記距離Ｌ１は、前記距離Ｌ３と等しく、前記距離Ｌ２は、前記距離Ｌ４より大きい。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
あるいは、本開示に係る室内機は、ケーシングと、前記ケーシングの対象空間に臨む面に設けられ、吸込口及び吹出口が形成されたパネルと、前記ケーシング内に設けられた遠心ファンと、前記ケーシング内における前記遠心ファンの外周側に設けられた熱交換器と、前記ケーシング内における前記熱交換器の下方に設けられたドレンパンと、を備え、前記ドレンパンの外周と前記ケーシングの壁面との間に前記吹出口に通じる吹出風路が形成され、前記熱交換器は、第１部分と前記第１部分の下方に配置された第２部分とを有し、前記遠心ファンの外周端と前記熱交換器の内周端との距離が最も近い箇所における前記遠心ファンの回転軸に平行な断面において、前記熱交換器の前記第１部分の内周端及び前記熱交換器の前記第２部分の内周端は、前記遠心ファンの回転軸に平行に配置され、前記断面における前記熱交換器の前記第１部分の外周端から前記ケーシングの壁面までの前記回転軸に垂直な方向の距離Ｌ１は、前記断面における前記熱交換器の前記第２部分の外周端から前記ケーシングの壁面までの前記回転軸に垂直な方向の距離Ｌ３より小さく、前記断面における前記遠心ファンの外周端から前記熱交換器の前記第１部分の内周端までの前記回転軸に垂直な方向の距離Ｌ２は、前記断面における前記遠心ファンの外周端から前記熱交換器の前記第２部分の内周端までの前記回転軸に垂直な方向の距離Ｌ４と等しい。